

第1回常磐公園の緑を考える集い 会議録

日時 : 平成28年8月27日(土) 14:00~15:30
会場 : 常磐公園
出席者 : 市内在住の市民 11名
旭川市土木部公園みどり課 4名
株式会社 日水コン 2名(常磐公園利活用促進調査委託 受託者)
配付資料 : 次第
説明資料
常磐公園 開園100年 記念パンフレット

○会議録

開会・挨拶後、オリエンテーションとして、本集いの目的と全体スケジュール、本日の進め方について説明した。

続いて、配布した説明資料にそって常磐公園の概要、常磐公園改修事業、自然環境調査、常磐公園植栽計画についての説明した。

その後、現地視察にはいり、常磐公園植栽計画で位置づけしている自然更新ゾーン、緩斜面の植栽、在来種種子散布箇所現状について視察した。また、代表的なブッシュや水辺ビオトープの設置箇所候補や現在常磐公園で行われているボランティア(常磐公園ガーデンボランティア)の実施箇所を視察した。

現地視察を終えて、本日の感想や常磐公園に関する意見などを参加者全員に発表していただいた。最後に、次回の集いに関する予定や連絡事項について参加者に報告した。

視察中にあった質問について

- Q. 自然更新ゾーンに敷いてある砂利の目的は
- A. 種が風でとんでいかないための工夫です。
- Q. 自然更新ゾーンの設置期間は
- A. 現時点では特に設定していません。
- Q. (緩傾斜化部について) どこが管理しているのか
- A. 河川敷地とはなりますが、占有許可を受け、公園として旭川市が管理しています。
- Q. 公園として管理する前から生えている樹木はあるのか
- A. おそらくあると想定できます。
- Q. ブッシュ・ビオトープについて、池等の水辺を整備する予定はあるのか
- A. 現在のところ整備の予定はありませんので、現在ある水辺を利用したいと考えております。

意見発表（管理について）

- 自然更新ゾーンについて、種はそうそうとんでいかない。砂利敷にすると実生が育たなくなるのでこれは土や落ち葉に変えた方がよい。
- 自然更新ゾーンや緩傾斜部についてはより豊かな生態系を目指すため、芝の管理を低減させているところのだが、現状ではただ管理をしていないだけに見える。看板で目的などを表示しPRしてみてもどうか。
- あまりたくさんの看板を設置してしまうと景観上よくないのでは。
- 魚を利用して池の水をきれいにするよう検討してはどうか。
- ボート乗り場横の円形花壇は現在雑草が生えているだけなので景観上よくない。花壇にしてはどうか。
- ブッシュやビオトープを設置した後は定期的に観測するようにしたらよい。

意見発表（その他）

- 参加者がいつもの顔ぶれとなっている。もっと参加者が増えるよう募集方法を検討した方がよい。
- いつもの顔ぶれは議論が深まってよいのではないかと。我々で常磐公園の魅力を発信していきたい。
- 常磐公園は旭川市の観光財産であることから、公園みどり課・観光課・市民が一体となって検討したらよいのではないかと。
- 常磐公園の魅力や安全な利用方法を周知するためパンフレットを作成してはどうか。
- 常磐公園の生態系などの環境について、子供が学べるようなものを検討してはどうか。
- 本集いで出された意見や発案は言い放しにならないようにしてほしい。